



杉山たかのり ニュース

市議会内 日本共産党市会議員団控室 TEL35-3368

自宅 西宮市津門仁辺町5-21 TEL35-1682

団ホームページ <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログ <http://yaplog.jp/jcpnishisugi/> (携帯も可)

名神湾岸連絡線整備の要望やめよ！



今年7月5日、西宮市は「名神湾岸連絡線について、早期に計画の具体化を図るため、計画段階評価を速やかに開始すること」とする要望書を、県、神戸・芦屋市と連名で国に提出、国県の調査費計上など、名神高速道路と阪神高速湾岸線を結ぶ「名神湾岸連絡線」の具体化が急ピッチですすんでいます。杉山たかのり議員は、一般

質問で取り上げ、河野市長に国への要望はやめるよう求めました。

住環境の悪化と通学路の危険は大問題

杉山たかのり議員は、「西宮市民も市内事業者も、名神高速道路にも阪神高速湾岸線に、直接アクセスできることから、利用に関しては地元には恩恵はほとんどなく、兵庫県が言う目的と効果から考えて広域的な活動をする大企業に恩恵があると言えます。」と住民にはメリットがないと述べました。また、西宮 IC から延伸する有力なルートについて、「今津東線上に高速道路ができれば、住環境の悪化、まちの分断が予想されます。また、数年はかかる建設時には、環境悪化と通学路の危険などの問題も生じます。」と問題点を指摘しました。

一日わずか 2300 台のために必要か？

名神高速道路西宮 IC の交通量は1日 37500 台。そのうち阪神湾岸線を利用する車は 2300 台、わずか 6%。この 6%の利用者のために、今津地域の住環境を悪化させていいのでしょうか。

市は「事業効果を明らかにするため要望する」と答弁しました。



UR 借り上げ市営住宅問題で一般質問

杉山議員は、UR 借り上げ市営住宅問題でも質問しました。

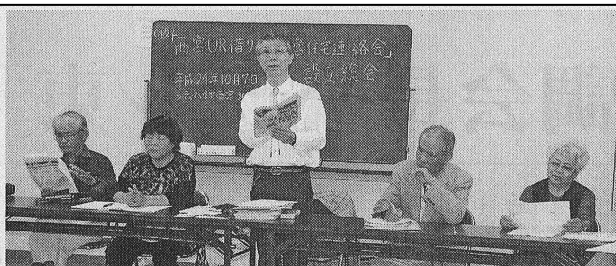
杉山議員は、5つの問題点(①震災で家を失った被災者が行政によって住み慣れた家を失う②高齢化で転居困難な入居者が26%もいる③今回の対応が東日本大震災にも影響する④他の市民の市営住宅への入居が減る⑤「追い出される」との不安が続く)をあげ、市の方針(住宅をURに返還し、入居者は他市住に募集により住み替え)は破たんしており、継続して入居できる新たな方策の検討を求めました。しかし、市は、方針に固執する答弁でした。

住替募集7割の空室に応募なし

一般質問の後、URへの返還が最も早いシティハイツ(青木町)の住民対象の住み替え募集が終了。61戸の募集に48人が応募しましたが、エレベーターがないなど42戸には応募がなく、杉山議員の指摘通り、方針が破綻した結果となりました。

UR 借り上げ入居者で連絡会

10月7日、5つの団地の入居者で、継続入居を求める連絡会が結成されました。今後、署名運動などにも取り組み、広く市民にアピールすること。しんぶん赤旗(右掲載)をはじめ、神戸、毎日、読売の各紙も報道。日本共産党も引き続き取り組みを強めます。



署名を呼びかける連絡会代表の松田氏(中央) 7日、兵庫県西宮市

阪神・淡路大震災の災害復興住宅としてUR(独立行政法人都市再生機構)から借り上げた市営住宅5団地4

47戸を継続・買い上げせず、返還するとして転居を求めている兵庫県西宮市。7日、借り上げ市住自治会や管理運営委員会、入居者が同市内で「西宮UR借り上げ市営住宅連絡会」設立総会を開きま

した。代表に選出されたルネシティ西宮津門2号棟自治会の松田康雄会長は、市との交渉内容や住み替え募集で、エレベーター付き住宅が5倍、6倍の応募がある一方、応募がない住

宅があることを紹介し、「周りの人に実情を知らせ、高齢者や障害者の住宅を守ろう」と署名に取り組みよう呼びかけました。日本共産党の杉山孝教市議は「市営住宅を1000戸減らす計画は復興住宅をなくすというところ。まだ震災は終わっていません。復興住宅は必要です」とのべました。松尾正秀市議も参加しました。

参加者は、借り上げ市住だけが退去を迫られる不公平や高齢、障害など転居できない実態と不安、市の対応への怒りを語りました。夫と暮らす女性(68)は「自宅は全壊しました。希望する住宅は当たらないと思います。通院もあるし、17年もたって別のところへ移るのは困る。このまま住み続けたい」と話していました。

UR借り上げ市住継続へ

西宮で連絡会結成

兵庫